



ステップ

令和元年6月28日
秋田県立稲川支援学校
進路指導部 発行

6月3日から7日にかけて中学部で前期作業学習週間がありました。また、6月3日から14日にかけて、高等部で前期実習が行われました。中学部では働くことに関心や意欲をもつこと、高等部では将来の社会生活・職業生活に必要な態度やマナーを実際の場面で経験して身に付けることを目指して取り組みました。事後学習では、自分の目標が達成できたか、成果と課題は何かを振り返り、日々の学習で身に付けていきたいことを考えることができました。

高等部 校内実習

校内を模擬事業所として実施しました。作業資材を一般事業所から借りて行っている班もあります。将来の生活に必要な態度や人との対応の仕方などについて、より具体的な場で経験するとともに、働く意欲を高めることを目的としています。

丸三化成稲川工場（ポリパックの結束）



稲川リサイクル工場（ペットボトルリサイクル）



佐藤養助商店稲川工場（稲川うどんの箱折り）

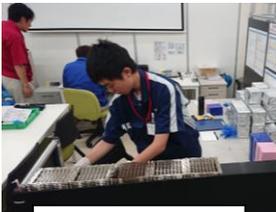


高橋農園シール部（パックシール貼り）



高等部 現場実習

一般事業所や障害者福祉施設で、実習を行いました。社会生活、職業生活に必要なマナーや職場でのきまりを実際の場面で具体的に経験しました。社会生活への適応力、働く意欲や心構えを養い、卒業後の主体的な進路選択を目指すことを目的としています。



秋田エプソン



ビフレ稲川店



秋田基準寝具



ショートステイかつら



川連運送



すみれ



パン工房さくら



ポリッシュ



松風



五輪坂ひなげしの里

中学部作業学習週間

手工芸班

クラフトコースターを作りました。分担して作ることで、自分の作業が次の工程につながり、完成につながっていくことや、みんなで作り上げていることに気付くことができました。また、青年会議所の方々と一緒に製作活動も行いました。



リサイクル班

缶運び→缶洗い→プルタブ取り→缶潰しの工程でアルミ缶のリサイクルを行いました。最終日には、リサイクル会社に、潰した空き缶を回収してもらいました。たくさんの缶を回収してもらい、達成感に満ちた作業学習週間となりました。



陶芸班

3年生1名、2年生2名、1年生2名の計5名で、丸皿、角皿、豆皿を作りました。苦手な工程を友達と協力して行う等、協力し合って作業に取り組みました。生徒たちが「自分たちの良さ」に気付くことのできた5日間となりました。



秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル

日時 令和元年7月12日(金) 10:00~15:40
(競技は10:40、実践交流会は13:50から)

会場 秋田市にぎわい交流館AU(あう)

- 参加内容
1. 秋田県障害者技能競技大会
 2. 特別支援学校作業学習製品等の展示
 3. 特別支援学校作業学習実践交流会

県内の一般企業等に、生徒の職業能力や職業教育への取り組みをアピールすることや、日頃培った技能を大会の場で互いに競い合うことにより、生徒の職業能力の向上を図ることをねらいとしています。

本校からは、高等部生徒が以下のとおり参加します。

- 技能競技大会：喫茶サービス部門2名、ピルクリーニング部門2名、パソコンデータ入力部門1名
- 作業学習実践交流会：農園芸・食品加工部門(農耕班)2名、木工部門(工芸班)2名、縫製部門(染め班)2名

※会場では、作業学習製品販売も開催されます。是非おでかけください。